



「カーボンの魅力をもっと身近にしたい」と話す落合取締役

株式会社UCHIDA



所在地 入間郡三芳町上富2048-1
代表者 代表取締役社長 内田 敏一 氏
事業内容 複合材料成形加工
資本金 5,000万円 従業員数 40名
TEL 049-274-3030
<https://uchida-k.co.jp>

「複合材料の成形加工技術で世界に貢献する」
同社の落合取締役に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

落合 1968年、現社長のお父様がマネキンづくりで創業しました。マネキンはガラス繊維とポリエステル樹脂を混ぜたFRPのものづくりからスタートしました。1980年代は自動車のエアロパーツを量産。その後、2000年代はカーボンファイバーにシフトし、より軽量で、高強度、高剛性、高品質を目指して、オートクレーブ設備を導入しました。二輪や四輪、航空機産業に参入するため、航空宇宙部門のJIS Q 9100/JIS Q 9001を認証取得して、航空宇宙、防衛関係を増やしてきました。炭素繊維に樹脂を混ぜた炭素繊維強化プラスチック(CFRP)成形で、世界のさまざまな分野で製品の軽量化に貢献しています。CFRPは、金属よりもはるかに「軽くて、強く、なおかつ錆びない」のが特徴です。バイクのレース部品や航空宇宙、防衛、自動車などに使われています。

■落合さんの経歴について

落合 父親の建築工事の手伝いをしていました。もともと車のエアロパーツが好きで、当社の求人に応募し、2002年に入社しました。入社当初からエアロパーツをカーボン成形加工する部署に配属となりました。常に新しいことを進めていく、チャレンジしていく社長が頼もしく、現在入社23年目です。2018年に取締役に就任し、2020年にこれまでの技術開発室を「新事業推進室」に改め、主に商品開発をしています。

■自社商品の「バクソールBAKUSOLE」について

落合 2020年のコロナ禍、子どもも自宅に居られない自粛生活でした。当社はこれまで、バイクやF1、航空機などのハイエンド製品をつくってきました。もっと人の身近に役立つものづくりができないかと思い、子どもを見ていました。子どもたちを外で走り出してあげたいな。うちの子は足が遅いので、速くしてあげたいなと思い、大人用のカーボンインソールはありましたが、子ども用がないので、着手しました。